

日本周産期・新生児医学会
専門医制度

専門医
資格更新認定試験要領

2024 年 5 月

一般社団法人
日本周産期・新生児医学会

目次

＜インターネット試験に関する注意＞	2
インターネット試験期間	2
＜申請書類記載上の注意＞	2
1. 専門医資格更新認定申請書	2
2. 診療実績報告書	2
3. 研修単位となる業績一覧	2
＜研修単位となる業績＞ 専門医資格更新認定試験実施規定より抜粋	3
【書類の送付先・問合せ先】	5
1. 取得単位集計表の記入例	6
2. 学術集会参加記録簿の記入例	7
第 42 回 周産期学シンポジウムの単位証明について	8
＜参考＞	
1. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①	9
2. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②	10

＜インターネット試験に関する注意＞

インターネット試験期間

2024 年 8 月 1 日(木) ～ 9 月 25 日(水)

※上記期間中にインターネット試験及び申請書の提出を行う。

※インターネット試験の詳細について、7 月 30 日(火) [予定] に対象者にメールで連絡する。

1. インターネット試験は正答率 80%以上(30 問中 24 問以上)になるまで、期間中に繰り返し受験すること。
2. 9 月 25 日を過ぎるとインターネット試験は受験ができなくなるため、早めに受験をすませること。
3. インターネット試験の進捗は事務局で確認可能であり、完了の申告や証明は必要ない。

＜申請書類記載上の注意＞

1. 専門医資格更新認定申請書

- 1) ヘッダーに申請者名を必ず記入する。
- 2) 年月日はすべて西暦表記とする。
- 3) 今回の更新前に施設の異動があった場合は、すべての施設を「専門医期間中の職歴」欄に記入する。
- 4) 各種連絡に使用するので、必ず使用できる E-mail を記載する。 gmail 以外のアドレスが望ましい。申請書送付後に施設を異動した際は、会員ログイン後のマイページあるいは会員登録の変更中の「変更オンライン登録」から勤務先・E-mail 等を登録する(p10・11 参照)。

2. 診療実績報告書

施設の異動に関わらず、5 年間の症例の有無を記入する。

※経験症例の有無によって、更新の可否は左右されない。

3. 研修単位となる業績一覧

1) 取得単位集計表

単位として申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日～今回の更新年の 7 月 31 日までのものとする。ただし、初めて更新する場合は受験年の 6 月 15 日～更新年の 7 月 31 日の期間の単位を申請できる。

※第 38 回周産期学シンポジウム(2020 年 2 月開催)の参加証明は参加証と出席証明書のいずれも提出が必要。

※第 42 回周産期学シンポジウム(2024 年 1 月開催)の単位証明については、p8 を参照。

- (1) 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連したものに限る。
- (2) 研修単位となる学会または研究会への参加・発表は、必須単位に該当する学会は「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ、必須単位でない学会または研究会は「2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表」欄へ記入する。なお、学会または研究会での発表は筆頭演者に限る。
- (3) 学術論文を単位とする場合は、「3. 学術論文」欄へ単位数を記入し、「学術論文刊行記録」と論文の別刷(コピー可)を提出する。なお、学術論文はすべて周産期・新生児学に関連した論文に限る。学術論文には、以下の 3 種類がある。①、②については各自査読の有無を確認し、「査読の確認」欄に記名する。

① 査読制度のある学術雑誌に査読を受けて筆頭著者または corresponding author として発表し

た場合は 10 単位.

② 査読制度のある学術雑誌に査読を受けて共著者として発表した場合は 5 単位.

③ ①, ②以外の学術論文を筆頭著者として発表した場合は 5 単位となり, 専門医認定委員会の承認が必要となる.

(4) 項目ごとに単位数を記入する. 必須単位 30 単位以上で総合計 50 単位以上となるように記入する.

(5) 研修単位となる学会または研究会は, 本学会ホームページの「専門医制度(全体概要)」中の「研修単位となる学会, 研究会一覧」を参照. <http://www.jspnm.com/Senmoni/Tani.aspx>

2) 学術集会参加記録簿

(1) 参加した学会または研究会の参加証を貼付する.

参加証はオリジナルの提出を原則とするが, 名前の記入がある参加証はコピー可とする.

※「参加登録証」や「領収書」の添付では参加証明にならない. **A4 サイズで印刷した参加証は貼付せず「学術集会参加記録簿」の後ろに添える.** ネームホルダーサイズの参加章は記録簿に貼付する.

(2) 参加証を紛失した場合は, 開催年月日, 学会または研究会の名称, 単位を記載し, 上席者の署名を得る.

(3) 参加証の発行がない学会または研究会については, プログラムまたは抄録がある場合はそれを添付する.

(4) 発表の場合は抄録のコピーを添付する.

以下の 3), 4) は, 上記 2) で総合計 50 単位が満たせない場合のみ提出する.

3) 学術論文刊行記録

(1) 著者名, 論題, 誌名, 発行年, 頁の順に記入する.

(2) 論文の別刷(コピー可)を添付する.

(3) 掲載予定の論文は受理票及び論文のコピーを添付する.

※申請書と共に提出された論文について単位認定可否の判断を行うため, **申請前に雑誌名や論文タイトルを以ってその論文が単位認定可能かどうかの判定は行わない.**

4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿

(1) インストラクターをした場合には単位となるが, 補助の場合は単位とならない.

(2) インストラクター認定番号及びコースの種類等必要事項を明記する.

※記載された内容の正誤判定や単位認定は, 事務局が新生児蘇生法のデータベースを参照するため, 証明書等の提出は不要.

〈研修単位となる業績〉専門医資格更新認定試験実施規定より抜粋

第11条 専門医資格更新認定の受験に必要な研修単位については以下のとおりとする.

5年間に以下の項目の合計が50単位以上かつ必須項目 ***** の合計が30単位以上であること.

1. 学術論文の発表10単位

周産期・新生児学に関連した学術論文を, 専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に筆頭著者またはcorresponding author として発表.

2. 参加10単位+筆頭演者として発表10単位(参加10単位, 筆頭演者としての発表があれば10単位を追加)

日本周産期・新生児医学会 *****

周産期学シンポジウム*

3. 学術論文の発表5単位

- (1) 周産期・新生児学に関連した学術論文を、専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に共著者として発表.
- (2) (1)以外の学術論文を筆頭著者として発表した場合は、専門医認定委員会が審査する.

4. 参加5単位

新生児蘇生法講習会のインストラクター(補助は含まず)

5. 参加5単位＋筆頭演者として発表5単位

- (1) 日本小児科学会
- (2) 日本産科婦人科学会
- (3) 日本小児外科学会
- (4) 日本麻酔科学会
- (5) 日本新生児成育医学会
- (6) 日本新生児成育医学会教育セミナー
- (7) 日本母体胎児医学会
- (8) 日本糖尿病・妊娠学会
- (9) 日本小児外科学会秋季シンポジウム

6. 参加2単位＋筆頭演者として発表2単位

本学会が認める周産期・新生児学関連の学会または研究会

7. 国際学会(周産期・新生児学に関連するもの)

参加5単位＋筆頭演者として発表5単位

8. その他の学会については専門医認定委員会に申請後同委員会が審査する.

9. 研修単位の対象となる学術論文雑誌の例

日本周産期・新生児医学会雑誌
日本小児科学会雑誌
日本産科婦人科学会雑誌
日本小児外科学会雑誌
日本新生児成育医学会雑誌
Pediatrics International
Journal of Pediatrics
Pediatrics
Pediatric Research
Neonatology(Biology of the Neonate)
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research
Early Human Development
American Journal of Obstetrics and Gynecology
Obstetrics and Gynecology
British Journal of Obstetrics and Gynaecology
Ultrasound in Obstetrics and Gynecology
Pediatric Surgery International
Journal of Pediatric Surgery

【書類の送付先・問合せ先】

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30 日本周産期・新生児医学会 事務局

E-mail: senmoni@jspm.org

※問合せの前に資格更新認定試験要領を熟読し、質問はメールで問合せること。原則として電話での問合せには応じない。

<記入例>

1. 取得単位集計表の記入例

【記載上の注意】

1. 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連するものに限る。
2. 必須単位に該当する学会の参加・発表は、【必須単位】「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ記入する。必須単位でない学会または研究会での参加・発表は【その他の単位】の 2～4 に記入する。
3. 学会または研究会での発表は筆頭演者に限る。
4. 申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日から今回の更新年の 7 月 31 日までのものとする。ただし初めて更新する場合は、受験年の 6 月 15 日から更新年の 7 月 31 日までの期間の単位を申請できる。

【必須単位】

[1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表]

(1) 日本周産期・新生児医学会学術集会	10 単位	参加	1 回	20 単位
	10 単位	発表	1 回	
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	1 回	10 単位
	10 単位	発表	回	
(A)	(1) ～ (2) の合計 (合計で <u>30 単位以上</u> が必須です)			30 単位

【その他の単位】

[2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表]

(3) 日本小児科学会，日本産科婦人科学会， 日本小児外科学会，日本小児外科学会 秋季シンポジウム，日本麻酔科学会，日 本新生児育成医学会，日本新生児育成 医学会教育セミナー，日本母体胎児医 学会，日本糖尿病・妊娠学会，国際学会	5 単位	参加	1 回	5 単位
	5 単位	発表	回	
(4) 基本学会の地方会 研修単位となる学会または研究会	2 単位	参加	1 回	4 単位
	2 単位	発表	1 回	

[3. 学術論文]

(5) 筆頭著者または corresponding author として発表 (要査読)	10 単位	1 編	10 単位	筆頭演者として発表した 場合のみ
(6) 共著者として発表 (要査読)	5 単位			(5), (6)は査読制度がある論文
(7) 筆頭著者として発表	5 単位			査読がない論文で専門医認定 委員会の承認が必要

[4. 新生児蘇生法講習会]

(8) インストラクター(補助は除く)	5 単位	1 回	5 単位	
(B)	(3) ～ (8) の合計			24 単位
(A) + (B)	インストラクターとして参加 した場合のみ 総合計 (<u>50 単位以上</u> 必要です)			54 単位

2. 学術集会参加記録簿の記入例

【記載上の注意】

1. 参加証を紛失し学会での発表がない場合は、開催年月日、学会または研究会の名称、単位を記載し、上席者の署名を得る。発表した場合は、抄録のコピーを添付する。スペースが足りない場合はコピーして使用する。
2. 日本産科婦人科学会会員ポータル「学術集会参加」「単位情報」より「学会専門医」ページのコピーでも可。その場合は単位として申請する学会等をマークアップするなど印をつけること。

※第 38 回周産期学シンポジウム(2020 年 2 月開催)の参加証明は参加証と出席証明書のいずれも提出が必要。

※第 42 回周産期学シンポジウムの単位証明については、p8 参照。

参加日(西暦)	学術集会出席証明書貼付	必須単位	その他の単位
2017. 7. 15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 10 単位	参加 10 発表 10	
2018. 7. 20	第××回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第××回 日本周産期・新生児医学会学術集会 所属 〇〇〇病院 氏名 周産期 花子		
2019. 7. 19	第〇×回 日本周産期・新生児医学会学術集会	参加 10 発表 10	
2017. 1. 22	第〇〇回 周産期シンポジウム 第〇〇回 周産期シンポジウム 10 単位	参加 10	
2019. 8. 6	第〇×回 日本小児科学会 学術集会 第〇×回 日本小児科学会 学術集会		参加 5
2020. 5. 9	日本小児科学会 地方会 第〇〇回 日本小児科学会 地方会 参加証明書		参加 2 発表 2
2018. 4. 2	第〇〇回 日本産科婦人科学会 学術集会 日本 一郎	参加証紛失の場合は上席者の署名が必要	参加 5
小 計		50 単位	14 単位
合 計			64 単位

第 42 回 周産期学シンポジウムの単位証明について

●現地参加のみの場合

日本周産期・新生児医学会
第42回周産期学シンポジウム
周産期の栄養と代謝を考える
2024.1/26(金)~27(土)

所属 **所属先名称**

氏名 **お名前**

No. 1000

参加証明書

日本周産期・新生児医学会
第42回周産期学シンポジウムに
参加したことを証明いたします。

会期:2024年1月26日(金)~27日(土)

日本周産期・新生児医学会
第42回周産期学シンポジウム
大会長 増本 幸二

No. 1000

所属先・お名前の記載された部分 と
大会長の印がある部分 をひとつにして切り取り

↓

出願書類/更新書類内の参加証明部分へ
←切り取った参加証の貼り付け

学会参加証明書

No. 1000

お名前 殿
所属先

貴殿が、下記に参加したことを証明します。

記

学会名：日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム
会場開催日：2024年1月26日(金)~27日(土)
Web開催日：2024年2月2日(金)~3月2日(土)

日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム
会長 増本 幸二
(筑波大学医学医療系小児外科 教授)

会場開催日：2024年1月26日(金)~27日(土)
Web開催日：2024年2月2日(金)~3月2日(土)
母体・胎児専門医または新生児専門医 受験用参加単位：10単位
発表の場合、筆頭のみ5単位追加

日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム 会長 増本 幸二

会場開催日：2024年1月26日(金)~27日(土)
Web開催日：2024年2月2日(金)~3月2日(土)
母体・胎児専門医または新生児専門医 更新用参加単位：10単位
発表の場合、筆頭のみ10単位追加

日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム 会長 増本 幸二

会場開催日：2024年1月26日(金)~27日(土)
Web開催日：2024年2月2日(金)~3月2日(土)
認定外科医 申請用・更新申請用共通単位：10単位
発表の場合、筆頭のみ5単位追加

日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム 会長 増本 幸二

●web 参加のみ または 現地+web 参加の場合

お名前・所属先の記載された
学会参加証明証(A4 サイズ)の印刷

↓

出願書類/更新書類の参加証明欄へ
タイトルの記載と
←A4 の証明書を別紙として添える

【その他参考資料】

1. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①

Click **会員ログイン** English

会員・医療関係のみなさま 医学生・研修医のみなさま

母子の保健・医療を通じて
国民の福祉と医療の発展に貢献します
一般社団法人日本周産期・新生児医学会は
胎児・新生児ならびにそれに関わる母性・母体に関連する
医療・研究水準の向上を図ることを目的としています

検索 ホーム | サイトマップ | ENGLISH

会員ログイン

会員番号:
パスワード:

※会員登録/パスワードは生年月日（西暦で8桁）
（例：1980年1月23日→19800123）
※初回ログイン時にはパスワードの変更を推奨します

会員の方へ ログイン

Click

こんにちは、
周産 太郎 先生

パスワード変更 | ログアウト

マイページ
会員専用情報
会員登録の変更
専門医制度(マイ登録)
議事録・報告
周産期学シンポジウム
インターネット試験
学会誌(電子投稿)・刊行物
メール配信サービス

登録手順はこちら

大規模災害対策
情報システム
会員専用

【事務局連絡先】
〒182-0845
東京都新宿区市谷本村町2-30
(株)ポジカルビュー社内
日本周産期・新生児医学会事務局
TEL: 03-5228-2074
FAX: 03-5228-2104

周産 太郎 先生のマイページ

● 事務局からのお知らせ

2023/10/20 各種、登録情報の変更や、研修に関する届出はスマートフォン・タブレットでの画面遷移に対応していません。
パソコンでの操作をお試しいたさますようお願いいたします。

2023/04/26 研修開始届 登録の際は必ずご確認ください

2022/09/18 周産期専門医研修中の方へ、オンライン登録方法について

2022/03/17 退会ボタンを押しても反応しない場合、下記の「ポップアップブロック解除方法について」をご覧ください

2021/03/29 マイページのご案内 会員の方から寄せられるご質問を基に、マイページのご案内をまとめました

2020/09/25 画面が遷移しない場合、こちらをご確認ください。
ポップアップブロックの解除方法について

2017/04/18 マイページを開発いたしました

最新の状態に更新する

個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種類	専門領域	生年月日
7654321	2017/04/01	会員	産婦人科	

送付先	勤務先
勤務先	勤務先

※退会届登録日に日付が入力されている場合、退会手続きは済んでいます。
※生年月日未登録の場合は「1900/01/01」と表示しています。「登録情報の確認・変更」から生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更 退会

メールアドレス

メールアドレス	メール配信
①	希望する
②	

メール配信サービスの確認・変更

※学会からの重要なお知らせはメール配信を希望していない会員にもお送りいたします

会員ページ

「会員番号・パスワード(変更していない場合は生年月日を8桁)でログイン

勤務先やメールアドレスの登録を変更する場合

「登録情報の確認・変更」から変更できる

※会員登録の変更からも可能

※E-mailは問合せ等に使用するので、必ず使用できるE-mailを登録する

2. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会
JSPNM Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine

サイト内検索: 検索 ホーム | サイトマップ | ENGLISH

こんにちは、
周産 太郎 先生

パスワード変更 | ログアウト

マイページ

第53回学術集会
演題検索システム

会員専用情報

会員登録の変更

専門医制度(ワライン登録)

議事録・報告

会員へのお知らせ

本学会について

学術集会・総会

周産期学シンポジウム

新生児蘇生法普及事業

学会誌(電子投稿)・刊行物

メール配信サービス

登録手順はこちら

CMV感染診断サービス

周産期学教育セミナー
会員専用

大規模災害対策
情報システム

周産 太郎 先生のマイページ

● 事務局からのお知らせ

2018/01/12 ポップアップブロックの解除について
2017/10/11 評議員選挙に係るマイページ確認事項
2017/04/18 マイページを開封いたしました

最新の状態に更新する

個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種別	専門領域	生年月日
7654321	2017/04/01	会員	産婦人科	1999/09/09

機関誌送付先 勤務先

※生年月日未登録の場合は「1900/01/01」と表示しています。「登録情報の確認・変更」から生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更 退会

メールアドレス

①	メールアドレス	メール配信
①	abc@def.com	希望する
②		

メール配信サービスの確認・変更

専門医関連

研修開始認定日	研修番号	現 況	専門医認定開始日	専門医登録番号
2015/04/01	N01234	研修終了	2016/04/01	0135

[最新指導医履歴]

開始日	終了日	代表	暫定	施設名
2017/04/01		○	○	○○病院

指導医変更 [指導医に関する必要書類]
施設年次報告書 [施設認定に必要な書類中の3(毎年4月1日～5月31日の間に登録すること)]
【新生児】 http://www.jspnm.com/Senmoni/DL_S.aspx
【母体・胎児】 http://www.jspnm.com/Senmoni/DL_B.aspx

新生児専攻医、母体・胎児専攻医のオンライン申請後、修正・変更などある場合は事務局までご連絡ください
Tel:03-5228-2074 Fax:03-5228-2104

※変更届、研修年次報告書等の登録画面に切り替わらない場合は次画面に切り替わらない場合の対処方法を確認
※専門医の登録を修正・変更した場合は、個人情報に記載されている勤務先やメールアドレスも変更してください

最新の状態に更新する

新生児専攻医

↓ 施設と指導医の変更はこちらから

<申請記録> 開始届 変更届 休止・中止届 再開届

申請日	申請書類	施設名	研修開始日	研修終了日
2010/08/12	開始届		2010/04/01	

<研修年次報告書提出記録> 追加登録

施設または指導医が変更になった場合は変更届の登録を先におこなってください

研修番号	年度	研修期間	施設名
	2013	2013/04/01～2014/03/31	
	2012	2012/04/01～2013/03/31	
	2011	2011/04/01～2012/03/31	
	2010	2010/04/01～2011/03/31	

研修期間判定ツール

ここからも変更できる

勤務先等の変更を行うことができる

メール配信を希望するで、学会からの情報が配信される重要メールは希望しないアドレスにも送られる

メールアドレスの変更や、メール配信希望の変更はここから

専門医の登録番号はここで確認できる